



# 北陸新幹線は福井をどう変えるか?

## —地域経済・都市構造の変化予測—

来年3月16日に、北陸新幹線の金沢—敦賀間が開業します。福井県立大学地域経済研究所では、「北陸新幹線プロジェクト」を立ち上げ、この間、地域経済や都市構造に関する統計データの分析や地図作業などを行ってきました。

本フォーラムでは、日本を代表する新幹線研究者の一人である榎引教授をお招きし、新幹線と地域との関係について、日本各地の事例を踏まえてご講演いただきます。また、北陸新幹線による地域経済への波及効果について、日本政策投資銀行の飯田様・宮原様よりご講演いただきます。

後半のパネルディスカッションでは、地域経済・都市構造の変化予測を踏まえて、新幹線延伸に対する福井の課題について、考えたいと思います。

参加費  
無料

事前登録が必要です

### スケジュール

13:30-13:35

開会あいさつ

13:35-14:15

新幹線は福井・北陸をどう変えるのか  
—日本各地の事例を参考に—



榎引 素夫 (青森大学社会学部教授)

1962年、青森市生まれ。東北大・大学院で地理学を学び、青森県の地方紙・東奥日報社で新幹線取材に従事。2013年に青森大学へ。6度の新幹線開業を取材・調査。著書に「新幹線は地域をどう変えるのか」(古今書院)など。博士(学術)。

14:15-14:45

北陸新幹線敦賀開業がもたらす  
経済効果の持続・拡大に向けて



飯田 一之 (株式会社日本政策投資銀行 北陸支店 企画調査課課長)

東京都出身。2004年日本政策投資銀行入行。エネルギー業界とカーボンニュートラル関連の調査業務を経て、2022年4月より現職。趣味はスキーとサウナ、旅行、美食・建築巡り。全都道府県、世界40数か国を鉄道等の公共交通機関にて往訪。今年、西九州新幹線を取材し、新幹線に全線乗車。



宮原 史英子 (株式会社日本政策投資銀行 北陸支店 副調査役)

富山県高岡市出身。2001年日本政策投資銀行入行。以来、北陸支店・富山事務所にて、地域の経済調査や情報発信を担当。2012年より、女性就業・人材育成、北陸新幹線開業効果、オープンイノベーション等をテーマに、レポート執筆、講演活動などを行う。

14:45-15:15

北陸新幹線による  
福井県地域経済・都市構造の変化予測



松原 宏 (福井県立大学地域経済研究所長・特命教授・東京大学名誉教授)

1956年、神奈川県生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(理学博士)。西南学院大学経済学部、東京大学大学院総合文化研究科教授を経て、2022年より現職。専門は経済地理学で、地下誠二氏との共編著『日本の先進技術と地域の未来』(東京大学出版会)などで、産業立地・地域経済・都市システムの過去・現在・未来を研究。

原田 大暉 (福井県立大学産学官連携コーディネーター)

15:30-17:00

パネルディスカッション

コーディネーター 松原 宏

パネラー



武部 衛  
福井県未来創造部  
新幹線・交通まちづくり局長



堤 宗和  
敦賀市副市長



榎引 素夫  
青森大学社会学部  
教授



飯田 一之  
日本政策投資銀行  
北陸支店  
企画調査課長



宮原 史英子  
日本政策投資銀行  
北陸支店  
副調査役

日時

2023.11.24 金  
13:30-17:00 (受付開始 13:00)

会場

ハピリンホール

(福井駅西口ハピリン3階)

〒910-0006 福井市中央1丁目2-1

定員

200名 ※申し込み多数の場合は先着順とします。

お申込方法

事前登録が必要です。下記URLもしくは右のQRコードへアクセスし、フォームを送信してください。

<https://forms.gle/npEErjRdcfHgMMth6>



お申込み・お問合せ先

福井県立大学 地域経済研究所事務局 (担当: 中島、板垣)

TEL 0776-61-6000 (内線 6104) FAX 0776-61-6017

E-mail [keiken@fpu.ac.jp](mailto:keiken@fpu.ac.jp)

後援

福井商工会議所・福井経済同友会・福井新聞社

FBC・福井テレビ

